



起立歩(キリット)

# Kiritto

vol.19

平成28年10月1日発行

発行：香川医療生活協同組合  
高松協同病院

発行者：院長 北原孝夫

編集：高松協同病院 広報委員会

H P: <http://t-kyodo.com/>

## 地域連携懇談会を開催

当院では年2回地域連携懇談会を開催しています。8月5日に開催された地域連携懇談会には、市内外より急性期病院及び回復期リハビリ病院の医師、看護師、セラピスト、ソーシャルワーカーの方々が15医療機関から50名参加、当院からも医師を含め多職種の職員も参加しました。

まず、植木副院長からの2015年度回復期リハ実績報告の後、地域連携室から入院相談統計報告、理学療法士から免荷歩行器の実践報告を行いました。参加された方からは目標設定等支援管理料算定、急性期から転院して来られる場合の退院時処方の方、免荷歩行器の活用に関してご意見やご質問があり活発なディスカッションが行われました。

参加者から、高松協同病院の実績や診療報酬のことがよくわかった、退院時処方などの疑問や困っていることがよくわかった、免荷歩行器の導入を進めたい等の感想が寄せられました。

懇談会終了後には恒例の希望者の方のみの病院見学を行いました。急性期病院の看護師さんは見学途中にたまたま入院患者様に再会され、「しっかり歩けるようになったんですね！」と元気な姿に大変喜ばれていました。これからも連携を深める会を継続することで地域の回復期リハビリテーション病院としての役割を果たし、切れ目のない医療の提供につなげていきたいと思ひます。



## ○退院後の当院とのお縁についてのお話○

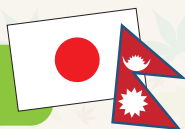
当院には、生活期のリハビリテーション(以降、生活期リハ)部門として、外来リハビリテーション、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション部門を併設しています。当院を退院された患者様は必要に応じて、先にあげた生活期リハビリテーションへと移行し、切れ目なくリハビリテーションサービスを提供できるようにしています。

一方、職員教育の一環も含め、毎月第3火曜日に生活期リハ部門から回復期病棟リハスタッフへのフィードバックを行っています。その場では、退院時の環境設定の結果や引継ぎの内容が適当であったか、また引継いだ課題に対する取り組み及び経過報告を行っています。



これらの作業を通じて私たちリハビリテーションスタッフは、入院、入院中、そして退院後の患者さん、家族さんへの関わりについて振り返る機会を持ち、さらなるサービスの向上に繋げるよう切磋琢磨しています。

## 国境を越えた退院支援



9月21日、フェクト・ネパールの理事の方が来院され、懇談会を行いました。現在、ちょうどネパールの方が入院されており、退院後はネパールに帰国するため、ネパールの医療状況がどうなっているのか、チームの中でも困っていたところにネパールの方たちが香川にやってくることとなり、是非、ネパールのことを知りたいと思い懇談会を申し込みました。

ネパールの医療状況は日本と全く違い、日本のように簡単に医療を受けられる状況ではなく、在日中に治療を終えていなければならないこと、また、交通事情は、自動車が多く車と車の間を見計らって道路を渡らなければならないことなど、日本との違いを知ることができました。

今後のリハビリの目標が明確になり、残された在日期間の間にリハビリをしっかり行い、ネパールでの生活が円滑に行えるようにしていかなければならないとチームで話し合いました。

(注)「フェクトネパール」(pfect NEPAL : Public Health Concern Trust Nepalの略で、1991年に「医療を必要としている人に必要な医療を」提供する目的で設立されたNGO。今回、日本の医療福祉生協の活動を学びたいと来日されていました)



## スポーツ大会を開催

9月1日に高松協同病院のスポーツ大会が牟礼中央公園運動センターで開催しました。皆さん多忙の中、約50名の職員が参加し、今年も豪華景品を巡って激しい戦いが繰り広げられました。

今年の競技はソフトバレーボールの1種目のみを4チームの総当たり戦を2回、合計6試合行いました。1試合1試合に大きな歓声や声援が響き渡り、前年度を上回る盛り上がりでした。普段はあまり交流の無い職員同士もスポーツを通して交流を深めることができました。

皆さんのお目当て豪華景品も多数用意しました。賞品は順位ごとにくじ引きで決める為、何が当たるか分かりませんでしたので最後の最後まで楽しみました。一番の豪華景品はレイコップでしたが、当たった職員は過去の大会でも豪華賞品をゲットした強運者だったのには一同驚愕。

今回は、委員会メンバーによる託児所スペースも用意しました。お子さんがおられて行きにくいという方にも気軽に参加してもらえたと思います。

来年度も職場の仲間で楽しく過ごせ、交流を深められるレクリエーションを企画していきたいと思っています。



## 腰痛プロジェクトの取り組み

当院では職員の腰痛予防対策として、腰痛予防プロジェクトチームがあります。

腰痛プロジェクトでは腰痛による離職者を出さないために①腰痛の原因を調査する②ノーリフト方針を推奨する所から着手しています。

今回はノーリフティングポリシーに基づき、ノーリフトを行うために導入している各場面での機器を紹介します。

### ＼＼＼1

これは主に歩行中に機械の力でお尻から腰にかけてリフトで釣り上げて支えるものです。これにより膝折れや転倒の危険なく歩行訓練が出来ます。

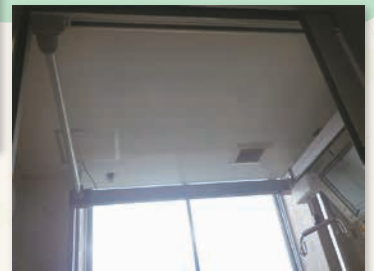
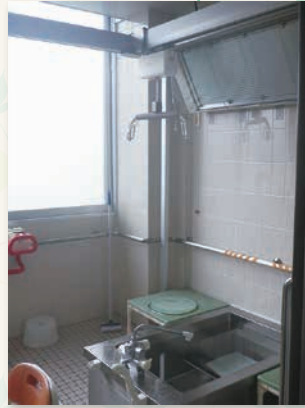


### ＼＼＼2

この白い椅子部分に座ると、身体を洗った後に座ったまま浴槽に入りお湯につかることのできるリフトです。

### ＼＼＼3

浴槽の天井走行リフトです。浴室の天井に四角くレールが設置されており、スリングシートと言われるシートで身体を包み込み、そのまま持ちあげてシャワーチェアや浴槽内など浴室を自由に移動し目的の場所へ降ろしてくれます。



このように、機械の力を借りて介護する側もされる側も安全かつ楽に日常生活やリハビリが出来るよう、腰痛プロジェクトでは今後も様々な生活場面で活躍するリフトの導入を検討し続けます。

## 第14回高松協同病院

# 健康まつり

出あい ふれあい 支えあい  
～心をつなぐまちづくり～

- 各種イベント(予定):木太中学校プラスバンド 和太鼓 バンド演奏・ダンス・阿波踊り 等
- キッズコーナー:ヨーヨー・おたのしみくじ 他
- 健康チェックコーナー:骨密度測定も予定(500円)
- 作品展コーナー ●バザーもあります

日時/**2016年11月13日(日) 10:30~14:30**

場所/**高松協同病院 駐車場** ※雨天の場合、屋内駐車場で行います。  
※お車でお越しの場合、できるだけ乗り合わせてお越しください。

主催/  **香川医療生活協同組合・高松協同病院 TEL 812-5331**



ポン菓子  
無料進呈

お楽しみ  
抽選会  
あります

## ● 地域ケア部から ～第4回「介護者のつどい」～

9月13日に第4回介護者のつどいを地域ケア部が中心となって約2時間開催しました。昨年は諸事情により開催できませんでしたが、今回は学習講演に村上治臨床心理士を迎え、約40分という短い時間ではありましたが「介護におけるコミュニケーションとストレス対策について」話をさせていただきました。在宅で介護をされているご家族7名（配偶者5名、子2名）の参加で、コミュニケーションを円滑にするための様々な工夫をされていることがよくわかりました。YOUコミュニケーション（主観的）をIコミュニケーション（客観的）にするだけで、要介護者の受け止め方が変わり、よりコミュニケーションがスムーズになることを学びました。介護する立場が違ふことで男女の介護感の主張も違い、交流会では大いに盛り上がりました。

参加者の感想として、“早い時期に今日の会があれば、うつ病の発症をせずに済んだのに”…などの意見も寄せられるほどに大盛況で終わることができました。老老介護・介護離職など介護に対する悩みや思いを吐露する場所の提供（“居場所づくり”）がつどいの開催とともに今後の課題となっています。



## ● 栄養相談室から

当院の栄養相談室には、管理栄養士が1名常駐しています。守備範囲は広く、病棟、外来をはじめ訪問リハ、デイサービスの利用者様の食事、栄養相談を受け持っています。最近はスポーツ栄養を応用したリハビリ栄養や、高齢者の低栄養防止の食事など、栄養学の研究が広がっています。班会ではホットな話題を取り入れながら、皆様とともに勉強をしています。

院内スタッフ、組合員さん、多くの方々に支えていただきながら仕事をさせていただいています。



## ● 協同病院管理室から

管理室では病院の管理運営全般に関わる業務を行っており、管理業務に加えて庶務機能や総務機能、システム関連の管理等、多くの役割を持っています。事務長や総看護師長をはじめ多くのスタッフが所属している部署で、病院の医療活動をしっかりと支えて地域の皆さまのお役に立てるよう頑張っていきたいと思えます。

